



栃木県立宇都宮清陵高等学校

全
日
制



所在地 〒321-3236 宇都宮市竹下町908-3
 電話 028-667-6251
 F A X 028-667-7970
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyaseiryo/nc2/>
 創 立 昭和60年
 課 程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 653人(男子278名 女子375名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 J R宇都宮駅西口からJRバス「芳賀バスターミナル」または「芳賀町役場」行きで「清陵高校南」または「清陵高校」(約25分)下車。(「清陵高校」停留所より徒歩1分)

I 学校の概要

今年、創立37年目を迎える男女共学の普通科高校。宇都宮市街の東に位置し、鬼怒川左岸に隣接した丘陵地にあります。周辺には宇都宮テクノポリス開発地区として発展を続ける清原工業団地や芳賀工業団地があり、清原中学校や作新学院大学にも隣接した緑豊かな恵まれた学習環境の中にあります。

教育施設として普通教室棟・管理特別教室棟のほかに、科学技術の実習棟、清友館（宿泊研修施設）、第一・第二体育館、武道場（柔剣道場）、広大な校庭等があり、生徒は学習や部活動に生き生きと励んでいます。また、校庭内には清陵の森と呼ばれる雑木林があり、四季折々の季節の変化を楽しむことができます。

本校で学び巣立った卒業生は令和3年に一万人を越え、地域や海外で活躍しています。

1 学校教育目標

- 豊かな思考力に支えられる創造的な知性をもつ生徒の育成
- 強い意志力から生まれる自律的な精神をもつ生徒の育成
- 知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもつ生徒の育成

2 目指す学校像

- 一人一人の進路実現に向けた、きめ細やかな進路指導と充実した学習指導に取り組む学校
- 規範意識を高め、社会性と自ら進んで行動する力を伸長させることに努める学校
- 特別活動の充実を図り、心身の健康を養い思いやりや協調性をもつ生徒を育成する学校
- 現代社会の変化に対応できる教養を高めるために、科学技術リテラシー教育を推進する学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、基本的な生活習慣及び中学校までの基礎学力を身に付けており、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する生徒

- (1) 学習に対する目的意識をもち、意欲的に取り組む生徒
- (2) 部活動・生徒会活動・学校行事などに懸命に取り組む生徒
- (3) 科学・技術に関する学習や研究活動に興味・関心をもち、主体的に取り組む生徒

生徒指標

『 より広く より深く そしてより高く 』

本校制服

スローガン

『 澄みわたれ 清陵ブルー ～ココで創る君の未来～ 』

※清陵ブルーは本校のスクールカラーです。本校行事の日は晴れが多いこと。その空の色がYシャツの色であることから呼ばれています。また、本校生の気質を表しています。



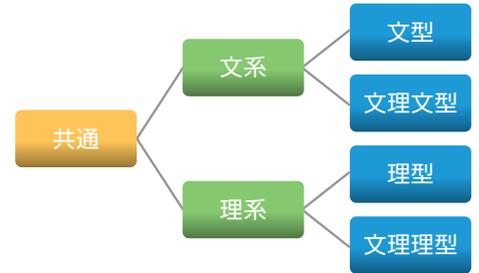
希望者は女子用スラックスが選べます。

II 本校の教育内容の特色

○進路に応じた教育

・類型制

1年生では全員がほぼ同じ科目を学習します。
2年生からは、自分の適性や進路にあわせて文系・理系に分かれます。文系は国語・地歴公民、理系は数学・理科等の授業時間が多くなります。



3年生の文理文型と文理理型は、国公立大学進学を目指します。

・普通科高校として充実したきめ細かな進路指導

3年間を見据えてそれぞれの学年に応じた進路行事を実施しています。
1年生では進路適性検査・職業別分科会・学習合宿（希望制）・サイエンスキャンプ・講演会があります。
2年生では、学部学科適性検査・東京での進学相談会（希望制）・分野別大学出張講義・講演会を実施します。
3年生では、講演会・宇都宮での進学相談会（希望制）を行います。
全学年、学習習慣の定着と学力向上のための課外授業（土曜課外・夏季課外）を実施しています。放課後には個別指導を行うとともに、自習室を整備し自主学習を推進しています。また、習熟度別学習指導を行い、大学・短期大学・専修専門学校・就職等幅広い希望進路実現のための支援をしています。

○科学技術リテラシー教育

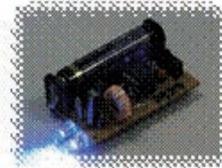
新しい時代を豊かに生きるための科学・技術について、本校で独自に編集した教科書を使用し製作や実験・実習を通して体験的な学習を行っています。科学技術の授業は、1年生を対象に全員必修で行う「科学技術A」と3年生理系で行う「科学技術B」があります。高大連携事業に関する協定を結んでいる帝京大学理工学部や足利大学の協力を得て、最先端の技術に触れる体験的な行事や県の施設である産業技術センターの見学も行います。教科の枠を越えて、現代の科学技術の基礎となる知識を学び、探究活動をすることで、科学する心や態度を育成します。



授業の様子



サイエンスキャンプ（帝京大学）



○豊かな人間性を培う教育

家庭や地域社会との交流を深めることにより、心豊かな人間性を養うことを目的としています。

・奉仕活動

校舎内外および学校周辺の清掃活動を実施するなど、環境美化に努めています。また、生徒会や吹奏楽部を中心に地域の祭り等の行事に参加して交流を深めています。

・福祉活動

講演会の他、進路が内定した3年生による「すぎの芽学園」での体験活動やJRC部が「マイホームきよはら」で定期的な活動を行っています。

・国際理解活動

外国の高校生との交流会や英語弁論大会等への参加、留学体験報告・講演会などを実施しています。その他、ALTによるモーニングスピーチを定期的に行っています。



さくら祭り



黄ばな花壇



「すぎの芽学園」での体験活動



JRC部・料理研究部協力による募金活動

Ⅲ 進路状況（過去3年間の主な合格先）

○大 学

- 〔国公立大〕 北見工業大学、室蘭工業大学、山形大学、宮城教育大学、宇都宮大学、筑波技術大学、東京藝術大学、福岡教育大学、名寄市立大学、前橋工科大学、下関市立大学
- 〔私立大〕 足利大学、国際医療福祉大学、作新学院大学、帝京大学（宇都宮キャンパス）、獨協医科大学、白鷗大学、医療創生大学、高崎健康福祉大学、女子栄養大学、文教大学、神田外語大学、千葉工業大学、麗澤大学、大妻女子大学、桜美林大学、工学院大学、国士舘大学、駒澤大学、実践女子大学、大東文化大学、拓殖大学、玉川大学、中央大学、帝京大学、東海大学、東京家政大学、東京経済大学、東京工科大学、東京女子体育大学、東京都市大学、東京農業大学、東洋大学、日本体育大学、日本大学、日本赤十字看護大学、日本女子体育大学、武蔵野大学、神奈川大学、鎌倉女子大学、洗足学園音楽大学、横浜薬科大学、関東学院大学、新潟医療福祉大学、山梨学院大学、奈良大学 他

○短期大学

- 山形県立米沢女子短大、静岡県立短大、足利短大、國學院大学栃木短大、作新学院大学女子短期大学部、佐野日本大学短大 他

○専門学校

- 栃木県立衛生福祉大学校、栃木県県南高等看護専門学院、栃木医療センター附属看護学校、済生会宇都宮病院看護専門学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、獨協医科大学附属看護専門学校 他

○就 職

- 国家公務員、栃木県警察、鹿沼市役所、各地区の消防本部 他

Ⅳ 特別活動の状況（学校行事、部活動等）

○学校行事

学校行事やホームルーム活動を通して、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指しています。特に、「清陵祭」・「校内球技大会」・「合唱コンクール」は本校三大祭典といえる生徒主体の行事であり毎年実施しています。

- ・（4月～7月）… 校内球技大会、芸術鑑賞会、合唱コンクール、学習合宿（1年）
- ・（8月～12月）… 清陵祭、修学旅行（2年）、サイエンスキャンプ（1年）、分野別大学出張講義（2年）
- ・（1月～3月）… クラス対抗小倉百人一首かるた大会（1・2年）、卒業生講話



清陵祭



校内球技大会



合唱コンクール



百人一首かるた大会

○活発な部活動

体育系15、文化系12の豊富な部活動があり、各部とも目標を持ち活気に満ちた活動をしています。

- （体育系部活動） 野球部、硬式テニス部（男・女）、サッカー部、陸上競技部、バスケットボール部（男・女）、卓球部、バレーボール部（男・女）、剣道部、柔道部、水泳部、バドミントン部（男・女）
- （文化系部活動） 吹奏楽部、写真部、茶道部、アート部、国際理解部、理科部、演劇部、書道・かるた部、JRC部、科学研究部、料理研究部、箏曲部
- （同好会） 弓道同好会、パソコン同好会



部活動等の実績（過去3年間の主な成績）

◇文化部

吹奏楽部	・県吹奏楽コンクール高校B：銀賞（H30）
書道・かるた部 かるた班	・関東地区高校県予選会：個人4位、関東大会団体出場（R1） ：個人8位、関東大会県代表（R2）

◇運動部・同好会

陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> ・県陸上競技選手権大会：男子走幅跳7位、女子走高跳5位、以上2種目関東選手権大会出場（H30） ・県高校総体：男子走幅跳1位、女子走高跳1位以上2種目関東選手権大会出場（H30） ・県高校新人陸上競技大会：男子110mH 6位（R 2） ・国民体育大会県予選会：男子走幅跳1位（H30）、男子B100m 4位（R 1）
バスケットボール部	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校選手権大会県予選会：女子ベスト8（H30）
水泳部	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校総体：女子100m平泳ぎ3位、女子200m平泳ぎ3位（R 1） ・関東大会県予選会：女子100m平泳ぎ2位、女子200m平泳ぎ3位関東大会出場（R 1） ・県高校水泳新人大会：女子100m平泳ぎ1位、女子200m平泳ぎ2位（R 1） 男子100m平泳ぎ1位、女子200m平泳ぎ1位、 男子400m個人メドレー3位（R 2） ・国民体育大会：女子100m平泳ぎ出場（R 1）
弓道同好会	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校弓道選手権大会：女子個人3位（H30）
クライミング	<ul style="list-style-type: none"> ・リードジャパンカップ：13位（R 2）

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

本校への志望理由が明確で、基本的生活習慣を身に付けており、本校での学習に対応できる学力を有し、次の要件のいずれかに該当する者

- (1) 国語、社会、数学、理科、外国語の5教科の学習成績が優れており、大学への進学を目指し、意欲的に学習に取り組める者
- (2) 中学時代に、スポーツ活動や文化活動に継続して熱心に取り組んだ者、または生徒会役員として中心となり活躍した者で、入学後もそれらの活動や本校の部活動に懸命に取り組める者
- (3) 「数学」・「理科」の学習成績が特に優れており、入学後もその能力を伸ばさせ、学習や研究活動などに積極的に取り組める者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面接	個人面接 時間10分程度
作文	時間50分 字数500～600字

4 その他、特記事項

本校は、科学技術リテラシー教育を教育内容の特色の一つとしており、創設以来、学校設定教科「科学技術」を設け取り組んでいる。

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、
 - ①第1学年から第3学年までの「各教科の学習の記録」の評定（選択科目を除く）を合計（135点満点）する。
 - ②第1学年から第3学年までの国語、社会、数学、理科、外国語の「学習の記録」の評価を合計（75点満点）して段階評価を行う。
 - ③第1学年から第3学年までの数学、理科の「学習の記録」の評価を合計（30点満点）して段階評価を行う。
 - ④調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当する項目について、段階評価を行う。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、合格内定者を選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2の①の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の60%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の60%以内にある者）から、【資料の取扱い】の2の②、③、④のいずれかの評価において、優秀・良好・適性がある者で、面接・作文の評価が良好または適性がある者を対象とし、調査書の点数化されない部分を考慮して総合的に判断し、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】の2の①の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の100%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は全ての受検者）から、【資料の取扱い】の2の②、③、④のいずれかの評価において、優秀・良好である者で、面接・作文の評価が良好または適性がある者を対象とし、調査書の点数化されない部分を考慮して総合的に判断し、合格内定者を選抜する。

第3次審議

第1・2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。